



先日の運動会は子どもたちの笑顔あふれる楽しい運動会になりました。おうちの方にもたくさん声援をいただき、親子競技での子どもたち、保護者の方の笑顔はとても心温まりました。今年も運動会が無事開催されたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

例年がない暑い夏で、園庭での全体練習などあまりできてはいませんでした。普段のあそびを少しずつ深めながら取り組んだ運動会、子どもたちは練習という感覚ではなく、あそびとして日々楽しんできたことをお家の方に披露できたと思います。特に年長児さんは、自分たちで運動会で何をしたいか意見を出し合い、保育士と対話を重ねながら、今回のしろリンピックを考えました。筋トレチーム、縄跳びチーム、ダンスチーム、相撲チームがどのように運動会で発表できるのかとても楽しみでした。みんな同じでなくていい、自分で考えた動き、子どもたちが考えたやり方も取り入れ、個性豊かなプログラムになっていたと思います。

「何かができる子ではなく、何かがやりたくなる、主体的な子どもたち」に成長しているなど感じております。これから異年齢でのあそびの中で、大きい子がやっていることを見て、憧れて、いろんなことをやりたくなると思います。年長さんのしろリンピックも、自分がやっていないチームをやってみたいと思っていることでしょう。運動会ごっこが盛り上がり、様々な運動あそびが深まり、子どもたちがやりたいことを主体的に取り組んでいく姿がみられることが楽しみです。

主体的な子どもに育てるためには、子どものやりたいこと、興味関心を持っていることを知り、一緒に調べたり、準備を

し、思いを共感してあげること、時には提案をしながら見守ることが大切です。決して大人が指示するのではなく、子どもたちの意欲を高めてあげることが何より大切なのです。これから世の中に出て、強くたくましく生きていくには、指示されて動くのではなく、自分で考えて行動する主体性が必要になります。その中で状況判断する力も大切になってきます。乳幼児期に保育の中、日々の生活の中、異年齢の関わりを通して、主体性が育つものだと考えています。「感謝と思いやりのある、自主的に行動する子」の保育理念のもと、子どもの主体性を、人生の土台となる5歳までの間に育てていければと思っています。ご家庭でも、お子さんに考えさせること、一緒に考えること、そして見守ることを大切にしていればと思います。

今、自然いっぱいの園庭には様々な種類のどんぐりが落ち始めました。赤とんぼもたくさん飛んでおり、とんぼとりにも夢中になっている子もいます。また、今年は萩のトンネルがとてもきれいにできています。萩の花の冠作り、色水あそびも始まっています。どんぐりの種類に興味を持ったり、その中で数、量、重さにも興味関心が出てくることでしょう。先日はピオトープの木の穴の中にカエルを発見し、マイクロスコップで見ている子もいました。自然の中で子どもたちのやりたい気持ち、主体的に動く力はとても発揮されていると感じています。やっと園庭で思う存分遊べる涼しさになってきました。好きなあそびを見つけ、とことん熱中できるよう、園庭、室内でもあそびの環境作りに今後も取り組んでいきます。

くまの・みらい保育園 園長

読書週間

10月27日～11月9日は「読書週間」です。保育園にはたくさんの絵本があります。親子で読みたい絵本を選んだり、本に触れる機会を作ってみましょう。図書館や本屋さんに出かけるのもいいですね。秋の夜長、親子でゆったりと絵本を楽しんでみましょう。絵本が大好きな子どもたちに育ててほしいですね。

お願い

くまどくノート、おうちにねむっていませんか。保育園で借りた本も記入していくと、1年間に読んだ本の記録にもなります。みらい文庫の日にはお家で絵本の題名を記入してみましょう。



熊野町から絵本をいただきました

各クラスに、2、3冊ずつ、えほんをいただきました。お部屋で読ませさせていただきます。ありがとうございました。



力を出し切った運動会

笑顔いっぱい、元気いっぱいな運動会になりました。子どもたちもおうちの方に見ただけで、やる気いっぱいがんばっていました。

とても暖かい雰囲気の中で行われ、喜楽会の方々をはじめ、保護者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



自然いっぱいの園庭

やっと園庭で遊べるくらいの涼しさになってきました。子どもたちとどんぐり見つけやトンボとり、自然物を使ったあそびを、これから思う存分楽しんでいきます。



萩のお花が満開です

暑さのせいかな、今年萩のお花がちょっと遅いけど満開です。萩野トンネルをくぐったり、お花を取って冠作り、色水作りを楽しんでいます。

